

平成17年11月25日

報道機関各位

東北大学留学生課

**東北大学がフランス国立応用科学院リヨン校と
ダブルディグリー・プログラムの覚書を締結**

東北大学（総長：吉本高志）は、フランスを代表する工学系のグランゼコールの一つである国立応用科学院リヨン校（INSA-Lyon, フランス・リヨン市）と来年度から大学院レベルでダブルディグリー・プログラムを実施することを決め、11月24日にフランス・リヨン市において同校との間で実施のための覚書を締結した。

ダブルディグリー・プログラムの内容

毎年度、東北大学・国立応用科学院リヨン校の大学院修士課程の学生が、相手校の正規の学生として入学して、約2年間の履修の後、学位審査を経て、東北大学修士号と国立応用科学院リヨン校工学ディプローム（Diplôme d'ingénieur INSA-Lyon）の2つの学位を取得する。なお、それぞれの教育は、原則として現地公用語（東北大学においては日本語、国立応用科学院リヨン校においてはフランス語）で行われるが、一部は英語で行われる。

ダブルディグリー・プログラムの狙いと今後の展開

1. 学生の国際的キャリア・アップ

非常にレベルの高い外国の大学院の正規の学生として研究活動をする機会を得るばかりでなく、日仏両国を代表するような2つの学位を取得できることは、特に今後国際舞台でのキャリア展開を志望する学生にとって大きな利益をもたらすものと期待される。

2. 国際共同研究・国際産学連携の推進

東北大学は、今回のダブルディグリー・プログラム実施を機に、国立応用科学院リヨン校との間で研究協力体制をますます強化していくと共に、フランス有数のハイテク産業の中心地であるリヨン市、ローヌ地方の企業との産学連携を推進したいと考えている。既に複数の現地企業が東北大学との連携に強い関心を示しており、その中から2007年に着工予定の東北大学青葉山キャンパスに設置されるサイエンスパークに進出する企業が出てくることも期待されている。

3. 東北大学の「グローバル戦略」の始動

東北大学は、本年6月に「グローバル・オペレーション・センター」を設置し、ダブル

ディグリー・プログラムを梃子にして海外有力大学と研究・教育のグローバル・アライアンスを形成していく戦略を立てているが、今回の国立応用科学院リヨン校とのダブルディグリー・プログラム実施の覚書締結は、そのようなグローバル戦略の本格的始動を告げるものである。現在、東北大学は、フランスの理工系グランゼコールを代表するエコール・セントラル5校（パリ、リヨン、リール、ナント、マルセイユ）及び中国のトップ大学である清華大学（北京市）とも同様のダブルディグリー・プログラム実施のための取り決めを準備中であり、近く調印の見込みである。また、今後さらにオーストラリアの有力大学とも同様の協定を結ぶ計画を進めている。



東北大学・国立応用科学院ダブルディグリー・プログラム実施覚書調印式
（2005年11月24日、フランス・リヨン市）

（参考資料）

- ・東北大学・国立応用科学院ダブルディグリー・プログラム実施覚書（訳文）（別紙1）
- ・国立応用科学院リヨン校（INSA-Lyon）の概要（別紙2）
- ・ダブルディグリー・プログラムの内容と履修モデル（別紙2、別紙3）
- ・東北大学と国立応用科学院リヨン校とのこれまでの交流実績（別紙2裏面）
- ・グランゼコール（Grandes Ecoles）とは（別紙2裏面）
- ・フランスの教育制度（別紙4）
（フランスの大学とグランゼコールの履修課程比較）

本件に関するお問い合わせ先：

東北大学国際交流部留学生課：藤咲、畠平 TEL 022 - 795 7684

東北大学と国立応用科学院リヨン校との間における
ダブルディグリーに関する覚書 (訳)

2004 年 7 月 13 日に東北大学と国立応用科学院リヨン校との間で調印された学術交流協定書に従い、東北大学及び国立応用科学院リヨン校は、ダブルディグリー取得を可能とするため次のとおり合意する。

1 . 目的

この覚書は、両校学生が国際社会環境に適応するためより広い学術及び文化的教育を行うことを目的とする。両校学生が二つの大学院レベルの学位 (東北大学及び国立応用科学院リヨン校) を取得する候補者となることを認め、同時に日本及びフランス間の科学及び技術的協力を最大限に実施する。また、この覚書は、国立応用科学院リヨン校に留学する東北大学学生及び東北大学に留学する国立応用科学院リヨン校生双方のためのダブルディグリープログラムの条件を定義する。

2 . ダブルディグリープログラム参加者

ダブルディグリープログラム参加者は、どちらか一方の大学の正規学生でなければならない。

3 . ダブルディグリープログラム採用言語

基本的に、講義は大学が所在する国の公用語で行われる。英語の講義も必要に応じて行う。

4 . 入学規則

a. 国立応用科学院リヨン校に留学する東北大学学生は東北大学に授業料を支払い、国立応用科学院リヨン校の授業料、出願料、登録料を免除される。東北大学に留学する国立応用科学院リヨン校生は東北大学の授業料、出願料、登録料を免除される。

b. 国立応用科学院リヨン校に留学中、東北大学学生は国立応用科学院リヨン校の全内部規定、フランスにおける全ての法律的及び社会的義務に従う。また、東北大学に留学中、国立応用科学院リヨン校生は東北大学の全内部規定、日本における全ての法律的及び社会的義務に従う。

5 . ダブルディグリープログラムの調整

両校はダブルディグリープログラムの調整役として事務代表者を任命する。

6 . 覚書の有効期間

この覚書は、両校の代表者による署名の日から有効となり、学术交流協定書と同じ有効期限を有する。また、相互の合意に従って更新される。

7. 覚書の終了

この覚書は、いずれの側からでも12ヶ月の予告をもって終了できる。但し、既に受け入れた交流学生に対しては、その学業計画が全うされるまではその責務を果たし続けるものとする。

8. 覚書の詳細

この覚書の詳細は、2006年1月に両校の代表者により署名される実施詳細事項に記載する。覚書または実施詳細事項に記載がないものに関しては相互の合意に従って決定される。

9. 覚書及び実施詳細事項の修正

両校は相互の合意に従ってこの覚書及び実施詳細事項を修正することができる。

10. 問題発生時の解決方法

この覚書は英語により各2通作成し、いずれも等しく正文である。日本における全係争は日本の法律及び習慣により解決される。フランスにおける全係争はフランスの法律及び習慣により解決される。

日付:

日付:

東北大学副総長
大西仁

国立応用科学院リヨン校学長
アラン・ストーク

(参考資料 別紙2)

ダブルディグリープログラム実施に関する覚書の締結参考資料

平成17年11月

国立応用科学院リヨン校 (INSA-Lyon) の概要

国立応用科学院リヨン校は、1957年に設置され、フランスの中の主要な工学系のグランゼコールの1つであり、フランスの科学技術と経済の発展に大きく貢献している。10学科(生化学科、エネルギー環境工学科、材料工学科、電気通信工学科、土木・都市工学科、機械設計工学科、産業工学科、電気工学科、機械開発工学科)、31専攻からなり、その教員総数は約470名、学生数は約5,400名を数える。

ダブルディグリープログラムの内容(別紙5:履修モデル参照)

東北大学生: 学部4年次を終了し、修士課程入学後に渡仏。INSA-Lyonに入学。6か月程度の仏語集中教育を含め、約2年間の仏国滞在・研究活動を行う。その後東北大修士2年次に編入し、約1年の東北大での研究活動の後、学位審査を経て東北大学修士号及びINSAのディプローム(Diplome d'ingenieur INSA Lyon)の2つの学位を取得する。また、学部3年からの渡仏プログラムなども別途検討されている。

INSA-Lyon 学生: INSA2年次修了生(本邦学部4年卒業相当)が渡日する。東北大修士クラス1年に入学。6か月程度の日本語集中教育を含め、約2年半の日本国滞在・研究活動を行う。学位審査を経てINSAのディプローム(Diplome d'ingenieur INSA Lyon)及び東北大学修士号の2つの学位を取得する。

東北大学と国立応用科学院リヨン校 (INSA-Lyon) とのこれまでの交流実績

- ・ 1997年7月 双方の大学の教授が共同提案し、第1回知的材料構造物に関する日仏セミナーを仙台において開催、その後、本会議は国立応用科学院リヨン校と本学流体科学研究所が核となり、日仏両国において計6回開催されている。
- ・ 2004年1月 流体科学研究所の井小萩所長が国立応用科学院リヨン校を訪れ、部局間学術交流協定を締結。同時に流体科学研究所のリエゾンオフィスを国立応用科学院リヨン校に設置
- ・ 2004年3月 21世紀COEプログラム「流動ダイナミクス研究教育拠点」の国際インターンシッププログラムにより、双方の研究学生の相互交流が開始された。
- ・ 2004年7月 国立応用科学院リヨン校 Alan Storck 学長が本学を訪れ大学間学術交流協定を締結。同時に大学間リエゾンオフィス設置の覚書に調印し、双方の大学にリエゾンオフィスを開設
- ・ 2004年10月 谷順二名誉教授(前流体科学研究所長)に国立応用科学院リヨン校

から名誉博士号が授与された。

- ・ 2005年1月 第1回東北大学・国立応用科学院リヨン校産学連携交流会をフランスで実施した。
- ・ 2005年11月 第2回東北大学・国立応用科学院リヨン校産学連携交流会をフランスで実施した。

- ・ 最近2年間の研究者・学生の相互交流数は以下のとおり

受入	教職員	15名
	学生	3名

派遣	教職員	55名
	学生	7名

グランゼコール (Grandes Ecoles) とは

フランス独自の少人数教育によるエリート養成のための高等教育機関。通常の大学(ユニヴェルシテ)が高校卒業時のバカロレア試験に合格後直ぐに入学できるのに対して、グランゼコールの場合は、バカロレア試験合格後、2年間のグランゼコール準備学校で勉強した後、各グランゼコールの入学試験に合格しなければ入学することができない。各グランゼコールの入学試験はいずれも非常に難関で知られ、難易度は日本やアメリカの最難関大学を超えとも云われている。学生は国家公務員として給料が支給され、卒業後はエリートとしてフランス各界の要職を占め指導層を形成する。

ダブルディグリープログラム履修モデル (INSA-Lyon)

(参考資料 別紙 3)

1. 入学試験の実施時期、場所、方法等は今後の協議による。
2. 研究指導、論文指導の方法等の詳細については、今後の協議による。
3. この他、学部生からの渡仏プログラム等が検討されている。

年次	INSA-Lyon学生				東北大学生			
	月	国	在籍学年	資格等	月	国	在籍学年	資格等
修士レベル	7年目	9月			3月			東北大学修士 Diplome d'Ingenieur INSA-Lyon 学位審査
		8月			2月			
		7月			1月			
		6月			12月			
		5月			11月			
		4月			10月			
		3月			9月	日本	MC 2	
		2月			8月			
		1月			7月			
		12月			6月			
	11月			5月				
	10月			4月				
	9月			3月				
	8月			2月				
	7月			1月				
	6月			12月				
	5月			11月				
	4月			10月				
	3月			9月				
	修士レベル	6年目	9月			3月		
8月					2月			
7月					1月			
6月					12月			
5月					11月			
4月					10月			
3月					9月			
2月					8月			
1月					7月			
12月					6月			
11月				5月				
10月				4月				
9月				3月				
8月				2月				
7月				1月				
6月				12月				
5月				11月				
4月				10月				
3月				9月				
2月				8月				
修士レベル	5年目	9月			3月			東北大学修士 Diplome d'Ingenieur INSA-Lyon 学位審査
		8月			2月			
		7月			1月			
		6月			12月			
		5月			11月			
		4月			10月			
		3月			9月			
		2月			8月			
		1月			7月			
		12月			6月			
	11月			5月				
	10月			4月				
	9月			3月				
	8月			2月				
	7月			1月				
	6月			12月				
	5月			11月				
	4月			10月				
	3月			9月				
	2月			8月				
修士レベル	4年目	9月			3月			東北大学修士 Diplome d'Ingenieur INSA-Lyon 学位審査
		8月			2月			
		7月			1月			
		6月			12月			
		5月			11月			
		4月			10月			
		3月			9月			
		2月			8月			
		1月			7月			
		12月			6月			
	11月			5月				
	10月			4月				
	9月			3月				
	8月			2月				
	7月			1月				
	6月			12月				
	5月			11月				
	4月			10月				
	3月			9月				
	2月			8月				
修士レベル	3年目	9月			3月			東北大学修士 Diplome d'Ingenieur INSA-Lyon 学位審査
		8月			2月			
		7月			1月			
		6月			12月			
		5月			11月			
		4月			10月			
		3月			9月			
		2月			8月			
		1月			7月			
		12月			6月			
	11月			5月				
	10月			4月				
	9月			3月				
	8月			2月				
	7月			1月				
	6月			12月				
	5月			11月				
	4月			10月				
	3月			9月				
	2月			8月				
修士レベル	2年目	9月			3月			東北大学修士 Diplome d'Ingenieur INSA-Lyon 学位審査
		8月			2月			
		7月			1月			
		6月			12月			
		5月			11月			
		4月			10月			
		3月			9月			
		2月			8月			
		1月			7月			
		12月			6月			
	11月			5月				
	10月			4月				
	9月			3月				
	8月			2月				
	7月			1月				
	6月			12月				
	5月			11月				
	4月			10月				
	3月			9月				
	2月			8月				
修士レベル	1年目	9月			3月			東北大学修士 Diplome d'Ingenieur INSA-Lyon 学位審査
		8月			2月			
		7月			1月			
		6月			12月			
		5月			11月			
		4月			10月			
		3月			9月			
		2月			8月			
		1月			7月			
		12月			6月			
	11月			5月				
	10月			4月				
	9月			3月				
	8月			2月				
	7月			1月				
	6月			12月				
	5月			11月				
	4月			10月				
	3月			9月				
	2月			8月				
1月			7月					
12月			6月					
11月			5月					
10月			4月					

フランスの大学とグランゼコールの履修課程比較

H2005.11.25

大学（ユニヴェルシテ）

グランゼコール

博士課程Doctrat	8	PhD取得	大学院Doctrat	8	PhD取得
	7			7	
	6			6	
修士Master	5	マスター取得	グランゼコー ル 3年制	5	*ディプローム
	4			4	
学士Licence	3	リサンス取得		3	
	2		グランゼコー ル準備校	2	
	1			無試験	

リセ	12	バカロレア資 格取得
	11	
	10	
コレージュ	9	
	8	
	7	
	6	
小学校	5	
	4	
	3	
	2	
	1	